

2019 年秋学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：クリスチャン生活

メッセージ 1

クリスチャン生活を認識する

聖書：ピリピ1:20-21前半、ヨハネ14:10-20、15:4、ローマ12:4-5、ガラテヤ2:20

I. クリスチャン生活は、信者たちがキリストを生き、キリストを大きく表現する生活です——ピリピ1:20-21前半：

A. キリストは神聖な三一の中心です——Ⅱコリント13:14：

1. 神聖な三一の中心として、キリストは御父を表現し、その霊として実際化されます——ヨハネ14:10-20。
2. 御子は、御父の具体化であり、表現です（7-11節）。その霊は、御子の実際であり、実際化です（17-20節）。
3. 諸福音書において、わたしたちはイエスという一つのパーソンの中に御父と御子とその霊を見ることができます。彼は、わたしたちが生き、大きく表現する必要がある方です——ピリピ1:20-21前半。

B. キリストは命、唯一無二の命であり、他の命は真の命ではありません——ヨハネ14:6前半。

C. キリストは永遠の命です。すなわち、時間、質、完全さ、完成において永遠であり、破壊されず、腐敗しない命です——3:36、ヘブル7:16後半、Ⅱテモテ1:10後半。

D. キリストは、復活において、彼の信者たちにとって命です——ヨハネ11:25、コロサイ3:4前半。

E. キリストは命の霊として信者たちの中におり、また彼は信者たちの中において、彼らが彼を生きるようにさせられます——ローマ8:2前半、9後半、Ⅰコリント15:45後半、Ⅱコリント3:17、ヨハネ14:19、ガラテヤ2:20。

II. クリスチャン生活は、信者たちが彼らの地方において、地方召会として、団体的にキリストを生き、キリストを大きく表現して、キリストの宇宙的なからだの一部分として、キリストの地方的な表現となる生活です——ローマ12:4-5、Ⅰコリント12:12-13、27：

A. 神聖な三一の中心であり、また復活において命であるキリストを生きる信者たちは、彼の生ける肢体であって、彼の有機的なからだを構成します——ローマ12:4-5。

B. クリスチャン生活は、団体のクリスチャン生活、召会生活であるべきです——Ⅰコリント1:2。

C. 召会生活において、わたしたちはキリストご自身である、彼の神聖な属性が人性の美德において表現された生活を生きて、彼の有機的なからだの一部分となります——12:27、ローマ12:5。

III. 「クリスチャン生活は、キリストと有機的に一である生活です——ヨハネ15:4、ガラ

テヤ2:19-20節：

- A. 神は、神聖な命と人の命が結合されて一つ命となることを願っています。この一は命における合一です—— I コリント6:17。
- B. クリスマン生活は命を交換すること（低級な命を高級な命に交換すること）ではなく、命を接ぎ木すること（人の命を神聖な命に接ぎ木し、人の命と神聖な命をミングリングすること）です——ローマ11:24：
1. 接ぎ木することで、二つの同様の命は結合され、それから共に有機的に成長します。霊的接ぎ木の過程で、二つの命（神聖な命と人の命）は接ぎ木され、一つになります——創1:26. 2:7。
 2. わたしたちがキリストの中へと接ぎ木されるために、彼は、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活の過程を経て、命を与える霊と成らなければなりません。——ヨハネ1:14. マタイ1:1. I コリント15:45後半。
 3. 主イエスの尊さがわたしたちの中へと注入され、わたしたちが彼を高く評価し始めたとき、わたしたちは彼の中へと接ぎ木されました。復活の中で、わたしたちはキリストに結合されて、彼と有機的に結合されました——6:17：
 - a. キリストの中へと信じて、彼の中へとバプテスマされることによって、わたしたちは彼の中へと接ぎ木されました——ヨハネ3:15. ガラテヤ3:27。
 - b. わたしたちは、神の約束を成就する子孫である方、また良き地の祝福としての命を与える霊でもある方の中へと接ぎ木されました——16, 14節。
 4. 再生された者たちとして、わたしたちは接ぎ木された命を生きるべきです——ヨハネ15:4：
 - a. キリストの中へと接ぎ木された後、わたしたちはもはや自分自身によって生きるべきではありません。むしろ、わたしたちは霊なるキリストに、わたしたちの中で生きていただくべきです——ガラテヤ2:20。
 - b. わたしたちはもはやわたしたちの肉や天然の存在によって生きるべきではありません。むしろ、わたしたちは再生された霊によって、キリストと接ぎ木された霊によって生きるべきです——I コリント6:17。
 5. 接ぎ木された命の中で、神聖な命は働いて、消極的な要素を放出し、神が創造した存在を復活させます——I テサロニケ5:23. ローマ8:10, 6, 11。
 6. この接ぎ木を通して、わたしたちはキリストと結合され、ミングリングされ、合併されて、彼の中で、拡大された、宇宙的な、神性と人性との合併である、キリストのからだとなります。それは新エルサレムを究極的に完成します——I コリント6:17. ヨハネ15:4. 14:20. 啓21:2。
- IV. ガラテヤ人への手紙第2章20節で、わたしたちは神の新約エコノミーの最も基本的な真理を見ます（生きているのはもはやわたしではありません。キリストがわたしの中に生きておられるのです）：**
- A. 神のエコノミーによれば、生きているのはもはやわたしたちであるべきではありません。キリストがわたしたちの中に生きておられるべきです：
1. 神のエコノミーとは、「わたし」はキリストと共に十字架につけられ、キリストが彼の復活において、わたしの中で生きておられるということです。

2. 神のエコノミーにおける彼の意図は、手順を経た三一の神がわたしたちの存在の中へと造り込まれて、わたしたちを新しいパーソン、新しい「わたし」にするということです。
- B. 再生された民として、わたしたちには古い「わたし」と新しい「わたし」があります。古い「わたし」は終わらされ、新しい「わたし」が生きています：
1. 終わらされた「わたし」は、神性を持たない「わたし」です。
 2. 今なお生きている「わたし」は、神が加えられている「わたし」です。
 3. 古い「わたし」は、その中に神を持っていませんが、新しい「わたし」は神聖な命を受けました。
 4. 古い「わたし」が新しい「わたし」になったのは、命である神がわたしに加えられたからです。
 5. 新しい「わたし」は、古い「わたし」が復活させられて、神がわたしに加えられた時に存在するようになった「わたし」です。
- C. わたしたちとキリストは二つの命を持っているわけではありません。そうではなく、わたしたちは一つ命と一つ生活を持っています：
1. わたしたちは彼によって生きており、彼はわたしたちの中に生きておられます——ヨハネ6:57。
 2. もしわたしたちが生きていないなら、彼は生きておられず、そして彼が生きておられないなら、わたしたちは生きることができません。
 3. キリストは、わたしたちを彼と共に生きさせることによって、またわたしたちが彼と共に生きることができるようにすることによって、わたしたちの中に生きておられます——14:19。
- D. 「わたし」という生まれながらの人は、律法を守って、完成されようとする傾向があります（ピリピ3:6）。ところが神は、わたしたちがキリストを生きることを願われます。それは、神がわたしたちの中で、キリストを通して表現されるためです（ピリピ1:20-21）。ですから、神のエコノミーは、「わたし」がキリストの死の中で十字架につけられ、そしてキリストが彼の復活の中で、わたしたちの中に生きておられることです。